

## 生涯学習講座の審査・監修基準の概要

### 1. 生涯学習講座の審査、監修・指導の基本方針

生涯学習講座運営母体の健全な経営及び教育内容、教材・教具の整備状況、指導者の適格性などを専門的な観点から、厳正且つ公平性を第一義として審査、監修・指導を実施し、一般公衆が安心して受講できる生涯学習講座の提供を行なう。

### 2. 審査・監修基準

#### (1) 講座運営母体の経営的な基盤

狙い

講座運営の中止・中断などの危険性を事前に掌握しもって、受講生への経済的負担を防止し、安心して講座を継続受講できる基盤を確認する。

#### (2) 講座の目的等と教育内容との適合性

狙い

教育目的と教育内容の適合及び教育目標に対する教育内容の適切性並びに専門性を監修して、受講生の学習意欲を継続・振起させ安心して受講できる基盤を次の項目を確認・評価する。

##### ア. 教育体系（カリキュラム）

講座の基本方針のもと目的・目標の達成に関する方策・枠組みを確認する。

##### イ. 教科書（テキスト）

受講生が使用する図書で教育項目・内容が専門的かつ正確に記載され、記述体系、写真の掲載などが目的・目標を達成するために具体的に記述されているかを確認する。

##### ウ. 指導書（マニュアル）

指導のポイント、ノウハウなどが記載し、指導者が使用する教科書で、指導者による指導偏重の格差防止を確認する。

##### エ. 教材・教具

効率的・合理的な教育効果及び技術修得に資する教材などを教科書と教材・教具との整合性を確認する。

##### オ. 知識・技術習得の確認

受講生の理解度及び技術の修得を検査するために合理的な確認要領・資料を確認する。

#### (3) 教育管理

狙い

効率的かつ合理的な観点から教育基盤・教育環境を審査し、教育の専門性、受講生

の知識・技術の習得等の管理について評価・判定する。

ア. 受講生管理

受講生の通学の場合は、出席状況及び技術確認を、通信教育の場合は課題（レポートなど）提出状況とその評価について、またスクーリング出席状況などを踏まえた知識・技術習得状況を確認する。

イ. 指導者管理

講座を担当する指導者の選考に当たり、専門的な知識・技術習得状況及び経験などから指導者としての適格性を判断し、受講生が安心かつ信頼して受講できる基盤を確認する。

ウ. 募集

受講生の募集に当たっては、応募条件等を不特定かつ多数の公衆を対象にしているかを確認する。

以上